

令和4年3月24日（木）

令和3年度 3学期修了式 校長講和

「4月！来るべき新しい学年に向けて」

皆さん、おはようございます。

本日、ここに令和3年度 修了式を迎えました。

さて、新型コロナウイルス感染症との闘いは、もう2年を越えようとしています。藤井寺中学校では、学びたい、学び続けたいと切に願う生徒のみなさんの思いに少しでも応えようと、例えば、昨年度やむを得ず行えなかった宿泊行事の実施や、保護者の皆様に入場いただける行方大会の実現など、**今年度は、「最後まで希望を失わず、あらゆる英知を結集して、ベストを尽くす！“チャレンジ！”を合言葉に、実践へと繋ぐことができました」**。他にも、対面形式でのライブ実施にこだわった生徒会立会演説会やCups音楽発表会、さらには関西フィルハーモニー管弦楽団の演奏会の実現など、他の中学校では成し得なかったであろう貴重な体験を数多く実現してきましたね。「なぜ、実現できたのか？」それは、可能性を信じ、主体性をもって学ぼうとする生徒のみなさんの魂と、そんな生徒の皆さんの気持ちにしっかりと応えていきましよう心と心を合わせる藤中先生方の魂が融合し、大きなエネルギーとなり、コロナ感染の押し寄せる波をも寄せ付けないパワーとなって、実現できたものと信じます。

新型コロナウイルス感染症の襲来により、確かに私たちは、多くの大切なものを奪われました。これまで当たり前と感じていた日常のささやかな喜びを享受することも、決して当たり前なことではないのだと実感しました。しかし、一方では、コロナ禍のこの時間を、自分を見つめ直す機会としてポジティブに捉えようとしている人が、現在、たくさんいることを忘れてはなりません。私自身も、**コロナ禍がもたらしたものの全てが悪いことばかりでもないと思うようになりました。この間、色々な人に支えられ、ある時は、自分も誰かを支え、毎日が進んでいくと実感できる大きな学びがありました。**

最前線に立って、日々感染防止に奮闘くださっている医療・保健・福祉関係の皆様、機転の効いた対策を打ち出して、日々実行いただいている行政職の皆様、市民生活を支える多くの職業の方々の行動力、さらに協力を惜しまず工夫を重ねる方々の善意、**そして自分自身の努力も誇りに思っています。**辛い思いを乗り越え、不安に押しつぶされそうになっても、家族・友だちと、時に慰め合い、また時に励まし合い、いっしょにここまで踏ん張ってきた**私たちは、将来の勇者です。**

今しばらくコロナと付き合いしていく生活、大変だけれど、こんな時こそ、むしろ楽しく暮らせるよう頑張りましょう。治療薬等、まだ完全に整った状況とは言えない今は、自分たちの身は自分たちで守ることが大事です。私たちにできる感染症対策を貫いて、そして、どんな時も希望を持って頑張るのです。必ず光が灯る日はやってきます。

では、話を「修了式」に移します。

この後、皆さんは、教室で担任の先生から一人ひとり通知票をいただきます。

3学期の「学習の記録」とそれから皆さんの1年を通した学校生活の様子が記されています。担任の先生は、皆さん一人ひとりと過ごした1年を振り返り、皆さんが学んだことや賢くなったこと、それから皆さんの「良いなあ！」と感じた行動や発言、さらに

は、「これからこんなことを伸ばして行ってほしいなあ！」と思うことを、思いを込めて、一人ひとりの通知票を創りあげていましたよ。お家の方といっしょにしっかり読んでくださいね。そして、手にした通知票を通して、「4月から、私（ぼく）もっとがんばるわ！」と、元気いっぱい気持ちになってくれることを、校長先生は願っています。

明日からの14日間の春休みを有意義に過ごしてください。私が示す春休みのテーマは、「新しい学年に向けての土台作り」です。やり残したことはないかな？ 学び残した学習はないかな？ 読みたかったのに、読み切れていない本はないですか？ 1年を乗り越える健康、体力はついていきますか？ 部活動、コロナ感染が下降線にある今、久しぶりに充実した部活動ライフとして欲しいです。しっかりと基礎を固め、しっかりとチーム創りに専念する時ですね！

あと、そうそう、虫歯の治療も全部済んでいますよね！?

では、明日からの春休み、交通事故に遭わない、けがをしない、病気にかからない、そして、してはいけないことはしないなど、社会のきまりをしっかり守って、有意義な春休みを過ごしてください。そして、4月に、新しい学年、クラスで、お会いしましょう。元気に登校してください。

以上、修了式にあたって私の話とします。